

定例自然観察会実施報告書

2022年6月18日

5班 倉本 敏明

実施日 2022年6月11日(土)

テーマ 伝説の山と神出の里を歩く

コース 緑が丘駅～雄岡山～金棒池～雌岡山～緑が丘駅

集合 神戸電鉄緑が丘駅 9時30分、 解散 同駅 14時40分

参加者 ビジター 21名 会員 19名(5班 15名) (ビジターは5班に分け観察)

当日の天気予報は雨であったが、幸い雨もほとんど降らず涼しい快適な観察日和となった。今回は「おっこさん」「めっこさん」で親しまれている雄岡山(241m)と雌岡山(249m)を縦走し神出の里を巡るコースで、周辺の植物観察とハイキングを楽しんだ。

1. 緑が丘駅～雄岡山

駅から5分ほどの雄岡山登山口から観察開始。ネジキ、ネズミモチの花を中心にふだんから見慣れた樹木を見ながらスタートした。アベマキ、アラカシ、モチノキ、コナラ、ソヨゴなどの中高木が林立する樹林帯は、人を癒す空間でもある。途中ツブラジイの樹冠が広がり、足元ではタチドコロやタカノツメの幼木も多くみられた。カナメモチ、シャシャンボの樹肌やアズキナシの白皮目の様子などを観察しながら雄岡山の頂上に到着。

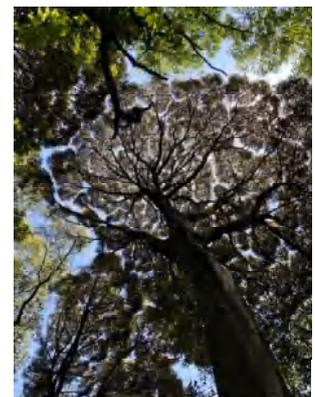
雄岡山は明石の地名の元となった雄岡神の赤い石伝説の山であり、頂上からは明石海峡大橋や淡路島、西神中央工業団地などを一望しながらしばしの水分補給と休憩を取った。



緑が丘駅 集合場所



樹林帯へ



ツブラジイの樹冠

2. 雄岡山の麓～金棒池(雌岡山登山口)

車道へ向かう道の両サイドでは、7枚葉のムベや新芽と樹肌が特徴的なゴンズイなどを観察、ヤブムラサキの花が見頃だった。車道沿いの道では観察を予定した場所が刈り取られており少し残念であったが、ミチバタナデシコ、ウサギアオイなどを観察した。長く伸びた雄花が目立つクリの花の香りがむせ返るようであった。普段はあまり近くで観察できない大きなオニグルミの実もすぐ目の前で見る事ができた。



登山道の観察



クリの 雄花



ウサギアオイの花

3. 雌岡山登山口～頂上(神出神社)～下山道～緑が丘駅

当日、雌岡山の梅林では梅の収穫体験をやっており、梅雨入りのシーズンを実感できた。登山道ではハチク、アジサイ、ナンキンハゼ、カゴノキなどが見られ山頂に到着。雌岡山は子午線上にあり神出神社が祀られている。祭神はスサノオノミコト、キワダヒメ、オオナムチノミコトでその子孫のオオクニヌシノミコトが八百万の神を輩出したことから、神出(カンデ)の地名が残ったという由緒ある場所で、神戸の名所にもなっている。神出神社境内でしばしの昼食休憩。頂上付近ではナナミノキやオオバイボタ、下山道ではクマノミズキや樹肌のきれいなイヌシデなどを観察、オオバノトンボソウやコクランも見ることができた。急傾斜の下りを過ぎると神出の里山風景が現れてくる。里山にふさわしい中低木の樹木やつる植物、草本類を道沿いに見ることが出来た。道路沿いの集落ではカキノキやクリ、ビックリグミなどの果樹、園芸種の草花など普段目にするものも多く参加者の目を楽しませていた。



サカキの花



ビックリグミ



帰り道での観察

弁慶伝説が伝わる金棒池からは、少し雨が降ってきたので速足で駅へ向い、予定より少し早く14時30分頃、全員無事に緑が丘駅に到着した。

雨予想にもかかわらず21名のビジターの方に参加いただき、親子連れ、遠く大阪から参加された方もおられ、主催サイドとしてはうれしい限りであった。参加者の多くは植物好きで知識も豊富という人で非常にレベルが高いと感じた。感想の中では、「歩く距離は少し長かったが、興味ある話が聞けて観察は楽しかった。また次回も参加したい」というご意見も頂いた。我々への励ましと受け止めたい。

以上